原始林 原始林

広島·宮島 弥山

時空を超えたような景観が広がっていた。世界遺産の島・宮島の奥深くに足を踏み入れると、太古からの姿を今にとどめる原始林と世界遺産の島・宮島の奥深くに足を踏み入れると、

写真・黄瀬麻以 文・渡邊卓郎

瀬戸内地方の気候が育んだのは、柑橘多い瀬戸内地方は、「日本の地中海」と多い瀬戸内地方は、「日本の地中海」と多い瀬戸内地方は、「日本の地中海」とも称される。その温暖な気候は古来よりは、「日本の地中海」と

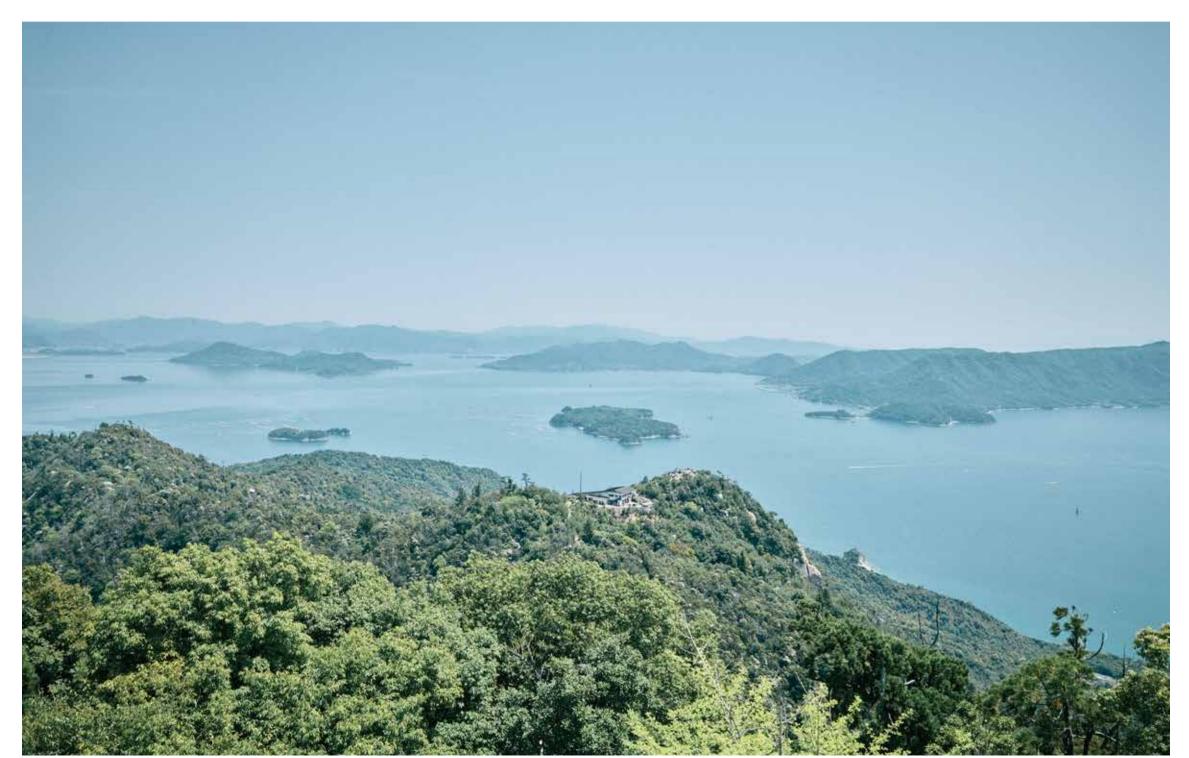
花崗岩からなる特異な地形美も、この地点在する島々や、瀬戸内に多く見られるい。「多島美」と称される、美しい海に類や魚介類といった食の恵みだけではな

ならではの魅力である。

底島県南西部に浮かぶ宮島も、そんな瀬戸内の恩恵を受ける島のひとつである。世界遺産・嚴島神社の朱塗りの社殿が海上に映える姿はあまりにも有名だが、その背後にそびえる弥山の存在を知る人はない。

標高535メートル。その山頂へ至る道のりには、1万年以上にわたって残る 原始林の奥深い自然と、巨岩・奇岩が無 原始林の奥深い自然と、巨岩・奇岩が無 数に点在し、瀬戸内海の穏やかな空気の中に太古からの時間を感じさせる、神秘的な景観を形づくっている。弥山全体に ツガやモミ、ブナといった樹木が群生する原始林の世界は、歩くことでこそ堪能

と豊かな森の姿に驚かされることだろう。間の空中散歩では、眼下に広がる多島美乗り場へ。中腹の獅子岩駅までの約15分桟橋から紅葉谷公園を経てロープウェー高島口からフェリーで海を渡り、宮島







右:宮島ロープウェー獅子岩駅を降りてすぐの獅子岩展望台からは、瀬戸内海の絶景が広がる。上:宮島口と宮島を結ぶフェリーは「JR西日本宮島フェリー」と「宮島松大汽船」の2社が運航。どちらも約10分の船旅。左:宮島桟橋から参道の街並みと公園を抜け、徒歩約25分で紅葉谷駅へ。そこからロープウェーを2本乗り継いで獅子岩駅へ。





上:弥山山頂には360度の大パノ ラマが広がる。初代内閣総理大 臣・伊藤博文は、「日本三景の一 の真価は頂上の眺めにあり」と称 えたという。左下:この巨岩・奇 岩の景観が、山岳信仰の対象とな

の風景こそ、瀬にない。いつまにない。いつまれた

光を受けて静かに連なる眺め



全国各地の知られざる魅力を ダイナースクラブの 目利き力をもってお届けします。

ふるさと

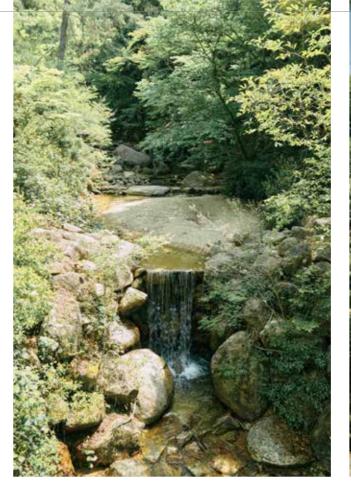
ときめき

PROJECT

※本誌72~73ページをあわせてご覧ください。

右:宮島桟橋から続く参道には、ノスタル ジックな街並みが広がる。左:嚴島神社を 象徴する大鳥居。古くから観光客に親しまれてきた宮島は、2024年に年間来島者数 の過去最多記録となる485万人を達成した。







田道へ足を踏み入 はく整備された なう。歩みを進め がら、森の奥へと

右:山頂へと続く登山道には、花崗岩の奇岩・巨岩がいくつ も現れる。左:嚴島神社の背後に広がる紅葉谷公園は、弥山

の麓に位置する。園内には紅葉谷川の心地よいせせらぎが響く。

正の巨岩は、この地の主な地質であいの巨岩は、この地の主な地質であい。 はの巨岩は、この地の主な地質である。 が、長い年月をかけて風化と浸 高岩が、長い年月をかけて風化と浸 高岩が、長い年月をかけて風化と浸 はか山ならではの はの口が岩を裂き、 がい、この地の主な地質であ さ光景である。れた、まさにネイエ り、自然と神聖つて修験者たちやがて山岳信仰なす風景は、古

右:弘法大師が灯した霊火「消え ずの火」が燃え続ける「霊火堂」。 中:「消えずの火」は広島平和記 念公園の「平和の灯火」の種火と なっている。 左: 宮島に生息する ニホンジカは、約6000年前からこ の地にいたとされる。





ない風景その